

千曲市総合運動公園基本構想案（概要版）

1. はじめに ———— 千曲市の目標実現に向けて

千曲市総合運動公園の整備は、『第三次千曲市総合計画』の目標である「人をてらす 人をはぐくむ 人がつながる 月の都 ～ 文化伝承創造都市・千曲～」を実現するための事業の一つです。

『千曲市総合運動公園基本構想』は、この事業化に向けた第一歩として、本市で実施するさまざまな計画・事業と整合・連携を図りながら、総合運動公園が担うべき役割を示し、新たなランドマークとなるような再整備プランを描いたものです。

本構想で描く総合運動公園は、右図に示す3つのエリアで構成されています。戸倉体育館をはじめとする既存のスポーツ施設の見直しを図りながら、白鳥園南側の低未利用地や千曲川の河川敷の有効活用も含め、

総合運動公園としての一体的かつ効果的な土地利用、地域活性化や本市の新たな核形成につながる整備を目指すなかで、対象地の現況や市民のニーズ等を的確に捉え、協議会や部会、幹事会による検討を積み重ね、基本構想の案をとりまとめました。本案では、公園全体のコンセプトを定め、地域とのつながりやエリアごとのコンセプト、整備方針、ゾーニング、構想実現までのプロセス等を以下のように設定しました。



〈千曲市総合運動公園の整備対象エリア〉

2. 総合運動公園全体のコンセプト

みんなが集い・憩い・楽しめるコミュニティスポーツパーク

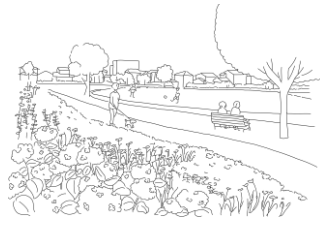
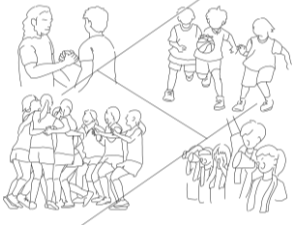
〈公園整備によって生み出したい地域の姿〉

多彩なスポーツ交流・コミュニティ

日常を彩る憩いの空間

にぎやかで楽しい時間

健康的に暮らす風景



3. 総合運動公園を核にした地域が「つながる」構想

(1) 地域における総合運動公園の位置づけ

本構想は、地域づくりの側面を重視しています。整備といっても、単にそれは施設整備をするだけに留まりません。総合運動公園が、地域の人々の暮らし、経済、資源をうまく循環させる一つのピース（核）として機能していく、そうなることが理想です。こうした考えを念頭に、地域との密接な関わりを築きながら、ここにしかできない総合運動公園の整備を目指します。

(2) 地域が「つながる」4つの構想

① 温泉利用とにぎわいでエリア間がつながる



② スポーツ×温泉（宿泊）でつながる



③ 「歩きたい！走りたい！」で地域がつながる



④ 公園等と機能や風景で市全体がつながる

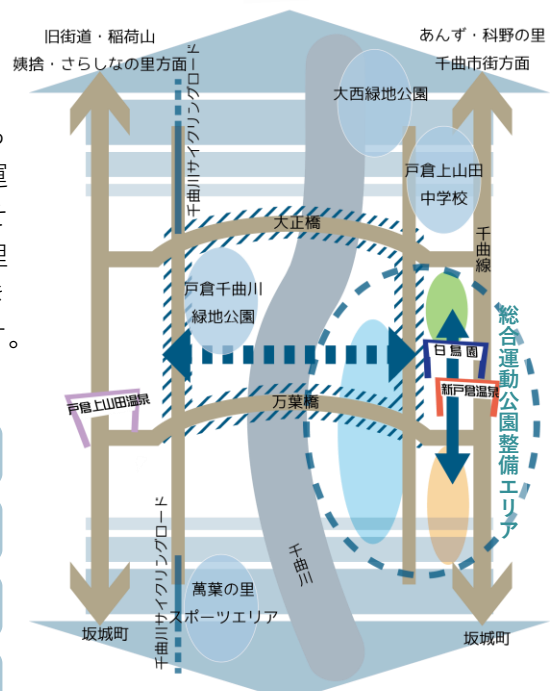


図 地域が「つながる」4つの構想のイメージ

4. エリア別の整備構想

4-1 戸倉体育館エリア

(1) エリアコンセプト

市内外から多くの人に愛され、親しまれる、憩いのスポーツ交流拠点

(2) エリアの整備方針

- 方針1 全市的な視点や敷地条件、ニーズ等を総合的に踏まえた機能整理
- 方針2 多目的性・多機能性を重視した施設整備
- 方針3 中長期を見据えた、持続可能で質の高い施設整備

(3) エリアのゾーニング

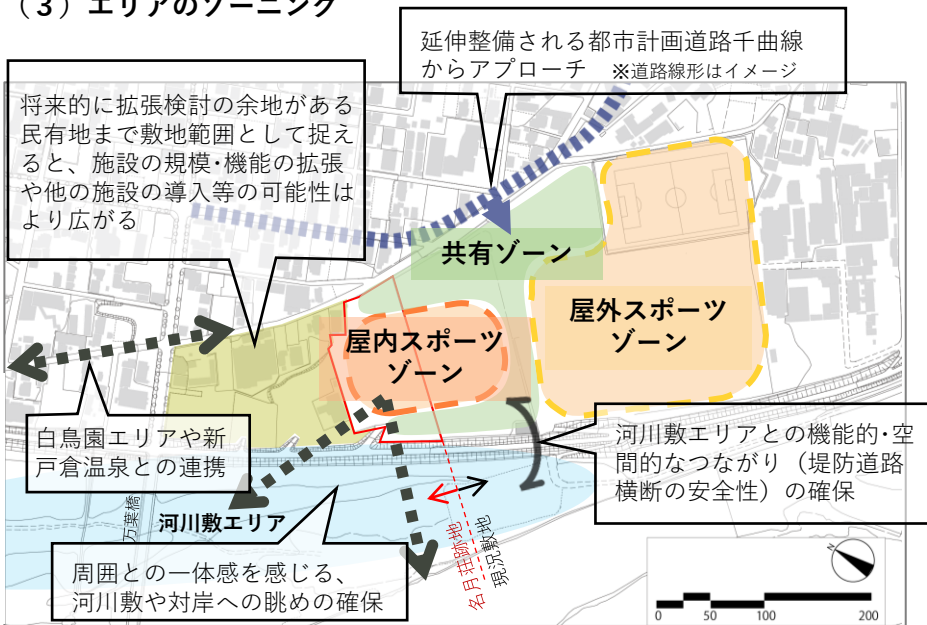


図 戸倉体育館エリアのゾーニング

	ゾーンの位置づけ
屋内スポーツゾーン	各種屋内スポーツの日常的な市民利用の他、合宿利用や大会利用、イベント利用など多様な利用を想定した屋内体育施設を新たに配置するゾーン
屋外スポーツゾーン	野球とフットボールの利用を中心に、ニーズに応じて多目的に使用できる屋外運動場を配置するゾーン
共有ゾーン	必要な駐車スペースを確保するとともに、ゾーン間の接続機能や周辺住宅街との緩衝帯機能を有する多目的なオープンスペースとして活用を図るゾーン

表 戸倉体育館エリアの各ゾーンの位置づけ

4-2 白鳥園エリア

(1) エリアコンセプト

多世代が集い交流し、心も体もあたたまる憩いの庭

(2) エリアの整備方針

- 方針1 白鳥園や周辺部の機能及び魅力を引き出す空間活用
- 方針2 公園全体の機能を補完・強化する施設整備
- 方針3 多くの人々が滞在して楽しめる特色ある施設整備

(3) エリアのゾーニング

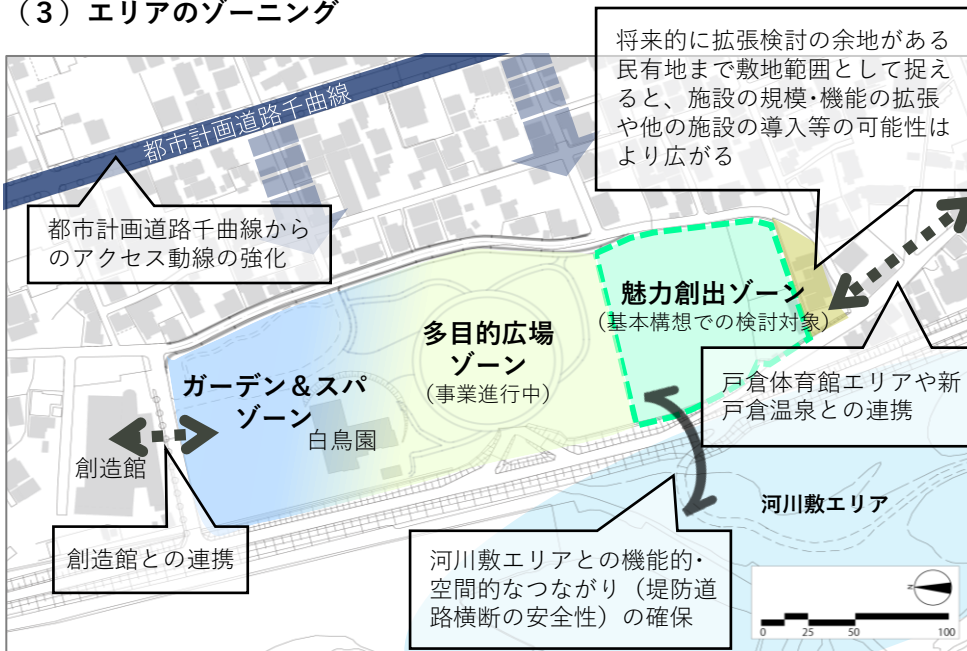


図 白鳥園エリアのゾーニング

	ゾーンの位置づけ
魅力創出ゾーン	民間と協働での施設整備によって、エリア全体の魅力増大を図るゾーン
多目的広場ゾーン	芝生広場を中心とした公園であり、市民の憩いの場として多目的に利用できるゾーン
ガーデン&スパゾーン	エリア全体の核である日帰り入浴施設「白鳥園」があり、周囲を彩る市民ガーデンが来訪者を迎えるゾーン

表 白鳥園エリアの各ゾーンの位置づけ

4-3 河川敷エリア

(1) エリアコンセプト

かわを感じる・かわと親しむ
・かわを楽しむ地域の縁側

(2) エリアの整備方針

- 方針1 水害リスクを考慮した施設整備
- 方針2 川の流れや地形を活かし、自然環境と共生できる空間活用
- 方針3 河川空間の魅力を引き出し、水辺とまちがつながる空間創造

(3) エリアのゾーニング

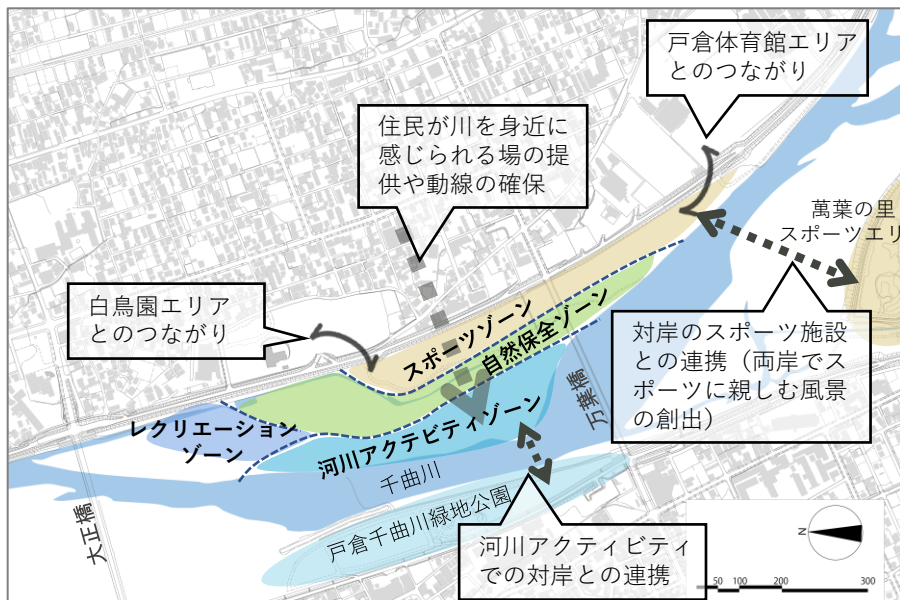


図 河川敷エリアのゾーニング

ゾーンの位置づけ	
スポーツゾーン	河川敷の安定した台地を活用して、スポーツを楽しめるゾーン
自然保全ゾーン	河川敷らしい植生や生態系の保全を主としつつ、自然を感じ、楽しめるゾーン
レクリエーションゾーン	河川敷のさわやかな景色とレクリエーションを楽しめるゾーン
河川アクティビティゾーン	河川をフィールドとしたアクティビティの場として千曲川と触れ合えるゾーン

表 河川敷エリアの各ゾーンの位置づけ

5. 総合運動公園の整備とともに推進する取組

取組1 地域をウォカブルにつなぐ道づくり

総合運動公園をハブ（拠点）にしたウォーク&ラン&サイクリングの広域的なネットワークを構築し、「歩きたくなる！走りたくなる！まち」を目指した取組を推進します。

取組2 スポーツ交流を「核」にした地域づくり

地域全体でスポーツ利用目的の来訪者を受け入れる基盤・体制を整えることにより、交流人口の増加を図る取組を推進します。

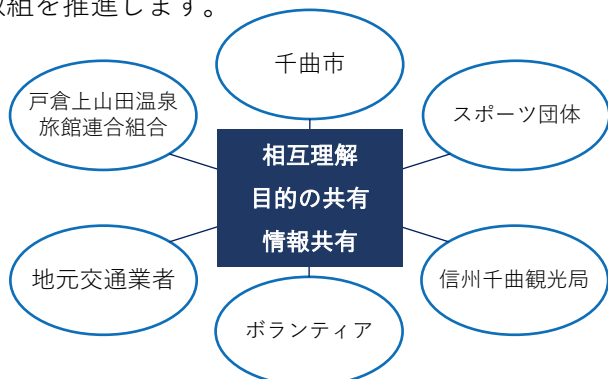
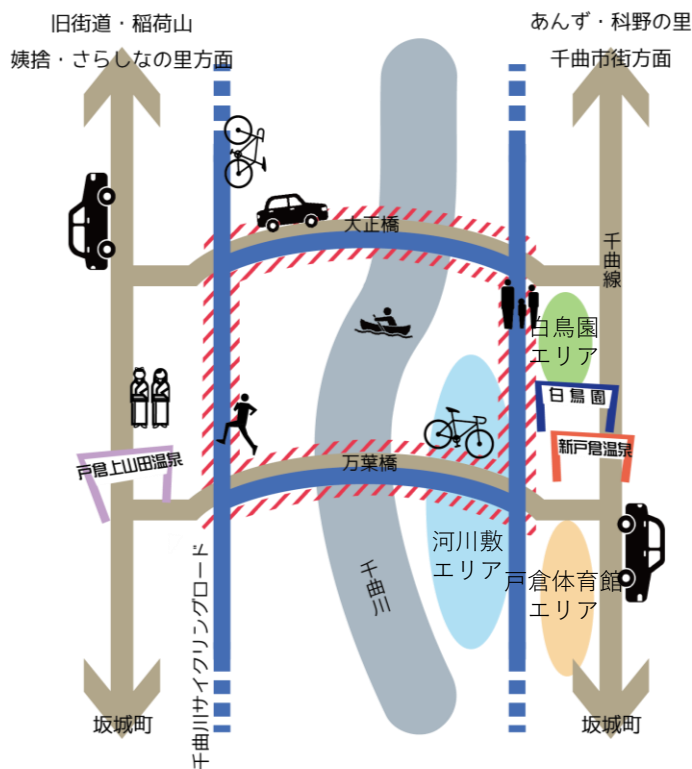


図 スポーツツーリズムを推進するための体制づくりのイメージ

取組3 地域主体の取組による公園との関わりづくり

総合運動公園を市民の憩いの庭として、誰もが気軽に訪れ、安心して過ごせる環境を整えるとともに、住民主体の多彩な活動やイベント開催等を通じて、より多く人々が公園を使い、訪れ、愛着を深められるような地域との関わりづくりを推進します。



- ウォーク&ラン&サイクリングロード
- //// 総合運動公園を基点にしたウォカブルな周回コース

図 ウォーク&ラン&サイクリングで地域をつなぐネットワークイメージ

6. 構想実現までのプロセス

(1) 整備スケジュール

本構想に基づく総合運動公園は、長期を見据えた整備となります。短期と中長期に分けて、エリアごと以下に示すおおまかなスケジュールに沿って、段階的に進めていきます。

基本構想	短期 (おおむね5～10年以内)	中長期 (10年後以降)
戸倉体育館エリア	既存施設の整備方針の整理 → 基本計画 → 基本設計 → 実施設計 → 整備着手	
白鳥園エリア	〈魅力創出ゾーン〉 基本計画 → 基本設計 → 実施設計 → 整備着手	
河川敷エリア	かわまちづくり計画 → 基本設計 → 実施設計 → 整備着手	

(2) 整備に合わせた取組・効果の展開イメージ

3つのエリアを核にした総合運動公園の段階的な整備を通じて、エリア間の相互連携を図りながら、地域に新たなコミュニティを育み、交流人口を呼び込み、地域全体の魅力を高めて、経済波及効果や愛着形成につながる取組の推進と発展の好循環を生み出し、「誰もが集い・憩い・楽しめる」地域づくりへの展開を目指します。

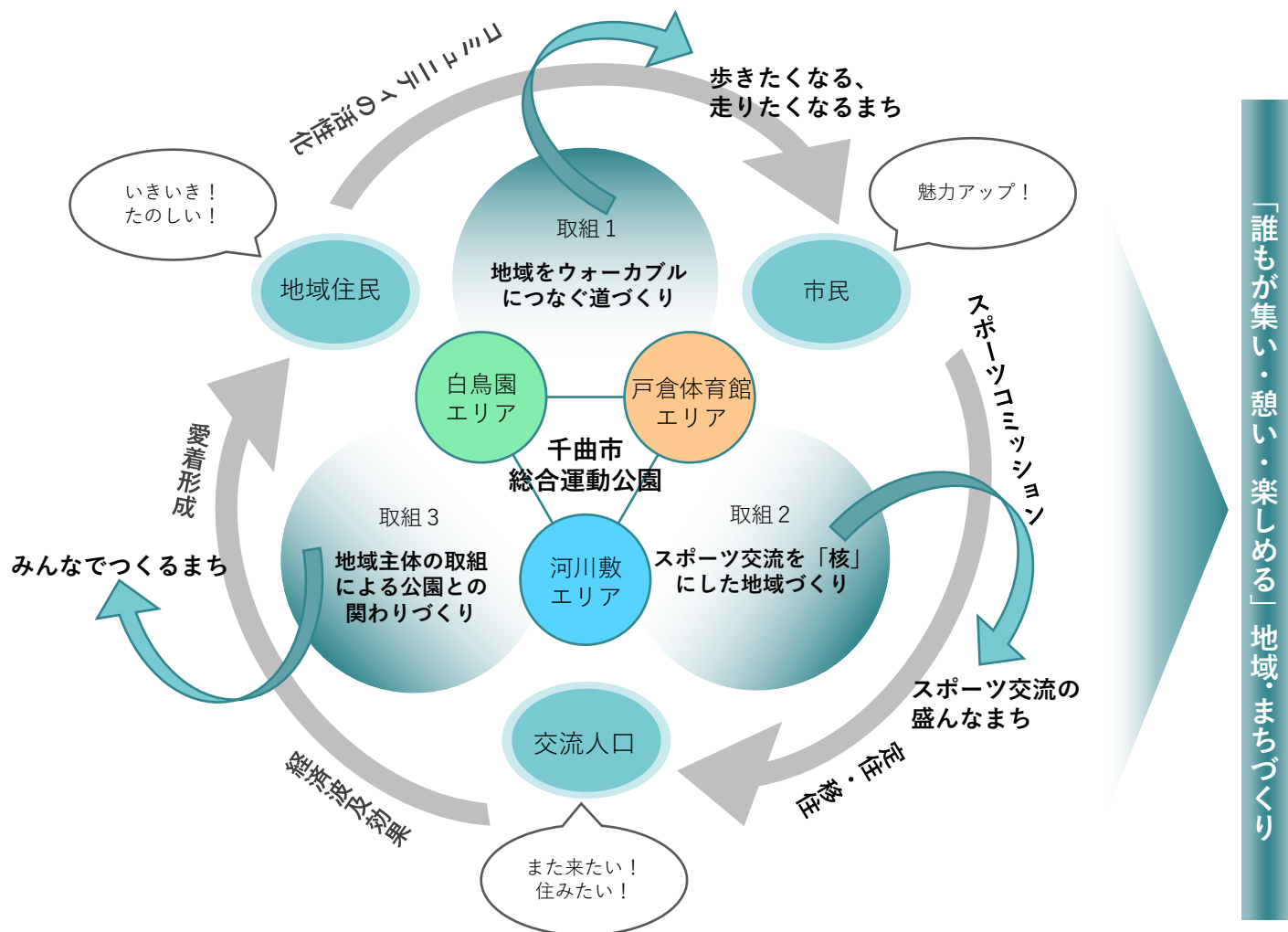


図 総合運動公園の整備に合わせた取組・効果の展開イメージ

<お問合せ先>

○都市計画課 計画係

○生活安全課 市民生活係

〒387-8511 長野県千曲市杭瀬下二丁目1番地

TEL : 026-273-1111 FAX : 026-273-1004

Eメール : 都市計画課 tosikei@city.chikuma.lg.jp (代表)

○スポーツ振興課 施設整備係 (戸倉体育館内)

〒389-0806 長野県千曲市大字磯部1406-1

TEL : 026-276-1731 FAX : 026-276-1739